様式１－１

2020年度 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

公募型共同研究　課題申込書

提出日:西暦　　年　　月　　日

チェックボックス（）をチェックすることで、クロスマークを入れる（）ことができます。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究課題名 | | （和） | |  | | 新規 | |
| 継続  前年度課題ID  または萌芽ID  (　 ) | |
| （英） | | 企業課題 | |
| ● 研究課題代表(利用責任)者 記入欄 | | | | | | | |
| 所属機関・部局名 | （和） | | | | | | |
| （英） | | | | | | |
| 氏　　名 | （和）  （英） | | 職名 | |  | | |
| 連 絡 先 | 住　所：〒  E-mail： | | TEL  FAX | | | | |
| 当申込書作成に当たり，募集要項を理解の上，記載内容にも誤りが無いことを誓約いたします。 | | | | | | |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ● 連絡責任者 情報（課題申込みについての問い合わせに応じられる実務担当者を記入してください。  　　　　　　　　　　研究課題代表者と同一の場合には，本欄は記入不要です。） | | | |
| 所属機関・部局名 |  | | |
| 氏　　名 |  | 職名 |  |
| 連 絡 先 | 住　所：〒  E-mail： | TEL  FAX | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ・共同利用・共同研究を希望する大学  ・共同研究者が所属する大学 | | 北海道　 東北　 東京　 東京工業　 名古屋　 京都  大阪　　 九州　 未定 |
| 共同研究分野 | 超大規模数値計算系応用分野　  超大規模データ処理系応用分野  超大容量ネットワーク技術分野  超大規模情報システム関連研究分野 | |

* 本申込でご記入いただいた個人情報につきましては，研究課題審査とシステム利用の目的にのみ利用いたしますが，課題採択後には募集要項の「9.採択後の留意事項」に沿って，所定の情報を公表させていただきます。
* 様式１－２以降は当該項目に記載の範囲で様式変更が可能ですが、様式１－１は変更できません。
* 以下は、事務局使用欄です。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 受 付 番 号 |  | 受付日  　　　　年　　月　　日 | 受付印 |  |

様式１－２

● 研究資源を利用する場合は施設利用計画

（本欄の記載に基づき研究資源が割当てられます。複数の研究資源利用の場合は，各々について記載して下さい。特にスーパーコンピューターの利用を計画されている場合は，利用を想定するＣＰＵ数，メモリ量，計算時間，および，必要なストレージ容量などについて研究計画と関連づけて記入してください。また，大規模な計算結果，観測データ等の処理が必要となる場合一回の出力で生じるファイル数及びファイルサイズ（個々のファイル，および合計サイズ），出力頻度，それに対する方策について簡単にご説明ください。SINET5でのL2VPN接続を計画されている計算機については，その旨を記入してください。その他の設備の利用を計画されている場合も，研究計画と関連づけて記入してください。利用計画の全資源を記載するためには行が不足する場合、行または表を適宜追加して下さい。）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 拠点名 | 利用資源名(計算機等) | 対応する研究項目 | 利用資源（計算資源）の積算根拠の概要 | 総ノード時間および 総ストレージ容量(TB)×期間(月) |
| （例）  東京大学 | （例）  Oakforest-PACS | （例）  (1)のテスト計算 | （例）  128ノード×10時間×24ケース  3TB×4ヶ月 | （例）  32ノード×2ヶ月  3TB×4ヶ月 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

様式１－３

* 共同研究体制

研究課題代表者および副代表者（最低1名は必須。2名以上の場合には「副」欄を追加して下さい）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 計算機 | 非居住者 | 若手 | | 氏　　　　　名  (国籍：日本以外の場合に明記) | 所属機関・部局名  （国名：所在地が日本以外の場合に明記） | 科研費研究者番号 | 研究分野コー |
| 35歳以下 | 36｜39歳 | 役割・担当分野等 | |
| 代表者 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
| 副 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |

申請課題の全共同研究者（課題採択後の追加や削除は審査が必要になります。下の注意事項もご確認下さい。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 共  同  研  究  者  リ  ス  ト | 計算機 | 非居住者 | 若手 | | 学生 | 氏　　　　　名  (国籍：日本以外の　場合に明記) | 所属機関・部局名 （国名：所在地が日本以外の場合に明記） | 科研費研究者番号 | 研究分野コード |
| 35歳以下 | 36｜39歳 | 役割・担当分野等 | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | |

* 計算機のアカウントは「計算機」欄にクロスマーク（）を記入した方以外には発行されません。HPCI-JHPCN課題の場合には，課題代表者，HPCI-JHPCNシステムを利用する副代表者・共同研究者，加えて代理申込み・対面認証を行う場合は副代表者，は申請に先立ってHPCI-IDを取得して下さい。
* 計算機利用者で外為法上の非居住者に該当する方（国外機関に所属する者や来日6ヶ月未満の外国人等：「安全保障貿易管理について」(令和元年７月 経済産業省貿易管理部)　15ページ「居住者及び非居住者の判定」(\*)をご確認下さい）については，「非居住者欄」にを記入して下さい。なお，非居住者の計算機利用については，事前に確認を取らせていただく場合がございます。

(\*)<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/setsumei_anpokanri.pdf>

* 統計調査のため，課題終了時点で35歳以下または36歳～39歳の方は，「若手」該当欄の記入にご協力下さい。
* 共同研究者が学生である場合は，「学生」欄にを記入して下さい。なお、共同研究者として大学院生は認められますが、課題代表者・副代表者にはなれません。
* 「科研費研究者番号」の該当がない方については，課題採択後に研究倫理教育の受講証明の提出を求めます（学生を除く）。
* 「研究分野コード」は下記の審査区分表内の5桁の数字を記載ください。

<https://www-kaken.jsps.go.jp/kaken1/daichukubunList.do>

* 本様式で全研究者を記載するためには行が不足する場合、行または表を適宜追加して下さい。

様式１－４

● 研究計画全体の概要

目的・意義・必要性・計画を，それぞれの位置づけがわかるように記述してください。採択審査は申込書に記載された事項に基づいて実施しますので，スペースが許す範囲でできるだけ詳細に記述してください。複数年度にわたり継続する課題については，研究計画全体の目的・必要性と今年度のそれらが分かるように記述して下さい。継続課題については，前年度実績も審査対象になります。１）から10）までの各セクションは**合計３ページ**の範囲内で記述して下さい。また、さらに補足資料を付加することは可能ですが，A4で1ページを上限としてください。

1. 研究目的
2. 当拠点公募型共同研究として実施する必要性
3. 研究の意義
4. 研究計画

複数年度にわたる継続課題の場合は，前年度中間報告時の実績からの差分として，今年度に実施する内容が分かるように達成目標を含めて記述して下さい。

1. これまでの研究成果

継続課題の場合は，これまでに当公募型共同研究で実施して得られた成果の概略を記述して下さい。10)の業績一覧と関連つけて，記述してください。

1. 拠点連携課題または大規模データ・大容量ネットワーク利用課題における具体的な計画

募集要項の「1.共同研究分野 B)」に基づく評価を希望される場合，下記のチェックボックスにチェックのうえ、拠点連携課題においては具体的な連携計画や拠点連携ならではの研究の特長についての記述を，大規模データ・大容量ネットワーク利用課題においては広帯域ネットワークの利用や大規模データ転送についての具体的な計画の記述をして下さい。

拠点連携課題  大規模データ・大容量ネットワーク利用課題

1. 共同研究の推進にあたって拠点構成機関において研究グループや研究者の協力が必要な項目  
   必要があれば具体的にご説明ください。
2. 人権の保護及び法令等への遵守の対応

研究計画を遂行するに当たって、研究対象者の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

1. その他の事項

企業共同研究課題へ応募される場合は，具体的な産業応用の計画についても記述してください。

10）本研究に関連して最近発表した成果のうち主なもの

（著者名、タイトル、掲載誌、発表年月日を最大7件の範囲内で記載してください。共同研究者のみの成果を含めても構いません。共同研究のメンバーには下線を引いてください。）

* (例) P. Researcher, J. S. Bach, R. Center, W. Mozart, “Computer Simulation of Classical Music”, IEEE Access , vol. 4, Apr. 2018, pp. 101-200.